



Well-being

福山市立幸千中学校
生徒指導だより⑨
2024年2月2日(金)



「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」追悼記念式典

今年度、全学年が学校近くにあるホロコースト記念館（福山市御幸町中津原 815）を訪問しました。そこではホロコーストの悲劇とアンネの思いが今を生きる私たちに「あなたはどうか生きるか」を問いかけてくれます。1月26日(金)、「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」(1月27日)に先立ち、ホロコースト記念館にて各国の大使を招き、追悼記念式典が行われました。本校の生徒会執行部、吹奏楽部の生徒も式典に招待され、世界の人々と平和について考える貴重な機会をいただきました。



なぜ人間は仲良く平和に暮らせないのだろう アンネ・フランク



平和をつくりだすために何かをする人になってください オットー・フランク



人間が共に生きていくうえで大切なことは何か

生徒会執行部によるプレゼンの様子と紹介文の一部



2025年に世界バラ会議が福山で開かれます。私たちは、ホロコースト記念館とともに歩む地元の中学生として、バラを育てたり配布したり世界バラ会議に関わっていきます。このようにアンネのバラを広める活動を通して、アンネが世界の平和を祈ったように、平和とは何かを考えていきます。

The World Rose Conference will be held in Fukuyama in 2025. We would like to participate in it by growing and sharing roses as a local student in Fukuyama. We will continue to work hard and think about "Peace" as Anne did.

吹奏楽部の演奏・歌と生徒会執行部のウェルカムボードで各国の大使をお迎えしました。駐日〇〇大使とは日本に派遣され、自国民の保護、駐在国(日本)の状況を自国に報告する国家の代表者であり、日本との外交を行う代表者でもあります。追悼式の冒頭では、ホロコーストで犠牲になった人々を追悼する祈りを捧げました。その後も、各展示室の紹介等があり、最後に Jean-Eric Paquet 駐日欧州連合(EU)特命全権大使から「未来に向けて-次の世代に送るメッセージ」と題してスピーチがありました。

2024年(令和6年)1月27日(土曜日) 中国新聞

ホロコースト 記憶継承誓う

福山の記念館 犠牲者追悼式典



アウシュビッツ強制収容所の模型を見るバケ大使(右端)たち

国連の「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」に合わせ、福山市御幸町のホロコースト記念館で26日、第2次世界大戦中のナチス・ドイツに虐殺されたユダヤ人たちを追悼する式典があった。欧州連合(EU)のほか、ドイツやイスラエルの高の生徒の案内で見て回

追悼記念式典参列者一覧(一部)

- 駐日ドイツ連邦共和国大使
- 駐日ドイツ連邦共和国大使館文化課長・一等書記官
- 駐日リトアニア共和国大使
- 駐日リトアニア共和国大使館一等書記官
- 駐日ポーランド共和国大使
- 駐日ポーランド大使館三等書記官
- 駐日欧州連合(EU)特命全権大使
- 在大阪・神戸アメリカ総領事
- 駐日オランダ王国大使館全権公使
- 駐日イスラエル大使館一等書記官、報道官・広報室長
- 広島県副知事
- 福山市副市長
- 在福山リトアニア共和国名誉総領事

つた。アウシュビッツ強制収容所の模型やアンネ・フランクの隠れ家を見学した。バケ大使は「命のビザ」を救った杉原千蔵の展示を見学。ろうそくをともし、約600万人の犠牲者を悼んだ。

「国際デー」は同収容所が解放された1945年1月27日にちなむ。E Uのジャンエリック・バケ駐日大使は「なぜホロコーストが起きたのか、歴史を伝えていく必要がある。何より子どもたちへの教育が重要だ」と強調。同館の大塚信理理事長(74)は「子どもたちが広い視野を持ち、平和な未来の担い手になるよう取り組んでいきたい」と話した。(江川裕介)

ホロコースト犠牲者を想起する国際デーについて

(国際連合広報センターから抜粋)

2005年11月1日、国連総会は、ユダヤ人の3分の1、そして無数のマイノリティーの人々が殺害されたホロコーストを再確認し、憎悪、敵対感情、人種差別、偏見がもつ危険性を永遠に人々に警告することを目的に、総会決議60/7を採択した。この決議は、ユダヤ人強制収容所のアウシュビッツが解放された1月27日を「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」と定めた。